

令和2年3月31日

香川高等専門学校
クラブ活動顧問各位

学生主事

課外活動再開に関する留意事項について

3月19日には国の専門家会議の提案を受け、文部科学省から3月24日付けで学校活動の再開についての方針を示されました。本校としては、香川県の感染者発症の状況等を総合的に勘案し、学生の健康確保を第一に考え、人数制限、活動時間、健康チェック、更衣方法など本校の定める感染拡散防止の留意事項に従って活動を再開します。ただし、県内において感染者が増加する傾向が見られた場合、再度活動を自粛することもありますので、ご了承ください。

記

活動再開について：香川県教育委員会の判断に準じ、下記の留意事項を踏まえたうえで、校長の許可が得られた場合、4月1日（水）より課外活動の再開を認めます。

【留意事項】

- 本人と保護者の意思を尊重した活動参加
学生本人の意思を尊重して、活動への参加を自主的に決めるよう促すこと。保護者へは、学生を通じての確認や保護者会を通じた意思確認、同意書の提出を求めるなど、各部において適切と思われる手段を用いて同意を得ること。
(参加しない学生が今後の活動で不利益を被ることがないようにすること)
*但し、文科省や県教育委員会からガイドラインが出た場合はそれに従う。
- 健康チェックの徹底
参加学生は朝起床時、クラブ活動開始前、夕食後に検温を徹底し必ず記録すること。少しでも体調に不安のある時は参加しないこと。練習中、少しでも体調に不安を感じる者については、速やかに帰宅させること。
- 参加学生と活動内容の記録
各部においては当日の参加学生の出席と活動内容を記録しておくこと。
- 感染防止対策の徹底
(1) 活動にあたっては、マスクの活用、手洗い・うがいの励行、換気など感染防止対策を可能な限り講じること。

- (2) 登下校の公共交通機関の混雑を避けるため、開始・終了時間を弾力的に決定すること。
- (3) 更衣室等の混雑回避のための時間設定や部屋の確保をすること。特に部室等の閉鎖的空間で同時に多数が更衣したり、長居をしたりしないように指導すること。
- (4) 活動時間は、可能な限り短時間とすること。
- (5) 活動内容を吟味すること（対人接触場面をできるだけ回避する）。
- (6) 体育館・武道場・音楽室等、室内活動場所の換気を徹底すること。
- (7) 汗を拭くタオルなど共有しないこと。
- (8) 飲み物（ペットボトル等）の回し飲みをしないこと。
- (9) 汗、唾液などを拭いた掃除用具などの処理も適切に行うこと。
- (10) 複数の部活動が同一施設を利用する場合、顧問間で連携をとりできるだけ大人数が密集する事態を避けること。
- (11) 自校での活動とする（当面の間は合宿や他校との合同活動、練習試合や遠征などは避ける）。

【具体例】

- 運動部活動をグラウンドや体育館で実施する場合には、限られたスペースに大人数が集まらないよう配慮するとともに、身体接触を伴わない練習内容とすること。
- 文化部活動を屋内で実施する場合には、ドアを広く開け、こまめな換気を心掛け、学生が手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）を消毒液により清掃するなど、感染防止対策を講じた上で、密にならないよう少人数の学生による実施とすること。学生の飛沫感染を防ぐ観点から、活動する学生同士の距離を十分に離し、不要な接触を避けること。特に、吹奏楽部の活動は個人練習、パート練習に止め、活動場所についても屋外を利用するなど十分に配慮すること。

【再開手続き】

活動の許可を得るにあたっては、留意事項の各項目について具体的な対策を考案し、文書にまとめて校長へ提出すること（様式任意）。

以上